

☆ 2022年度第54回大会報告

2022年7月9日(土)に、アルカディア市ヶ谷で第54回大会が開催されました。

【講演】「長い18世紀のアイランド—「姉妹王国」の虚実」

講師：勝田俊輔（東京大学大学院人文社会系研究科教授）

司会：横内一雄（関西学院大学教授）

【シンポジウム】「合同前後のアイランドをめぐって—言語、ジェンダー、自然」

司会・講師：吉野由利（学習院大学教授）

講師：池田寛子（京都大学教授）

原田範行（慶應義塾大学教授）

ディスカッサント：岩田美喜（立教大学教授）

3年ぶりの対面開催でしたが、盛会のうちに終えることができました。改めまして、講師の先生方、お力添え頂いた会員の皆様に、役員一同より厚く御礼申し上げます。

〈御礼〉

ご講演いただいた勝田俊輔先生からは、講演料ご辞退のお申し出をいただきました。本協会からは、ご講演にたいする謝意をあらわすとともに、本年度の『年報』、ならびに、本年度出版した論集第7号を勝田先生にお渡し、感謝の気持ちとさせていただきます。また、勝田先生は本協会にご入会くださいました。心より御礼申し上げます。

☆ 総会審議および承認事項等報告

本年度総会では、以下の審議、および承認事項が議事にあがりました。※ 総会での配布資料をご希望の方は、事務局までご連絡ください。

★ 日本ジョンソン協会2021年度決算報告（2021年4月1日から2022年3月31日まで）

		単位:円	
収入		支出	
前年度からの繰越金	4,200,607	大会運営費	50,000
年会費	419,000	年報(45号)印刷費	154,440
広告料(2件)	22,500	通信費	19,126
通常貯金利子	34	事務用品費	2,863
大会参加費	0	HPサーバー利用料金	1,815
大会当日会員参加費	0	旅費交通費	0
論集販売	0	総務事務費	0
		HP事務謝礼	0
		学術賞運営費	0
		雑費	203
		(小計)	228,447
		次年度への繰越金	4,413,694
合計	4,642,141	合計	4,642,141

日本ジョンソン協会所持金（2022年3月31日現在）

単位：円

現金	0
ゆうちょ銀行総合口座(通常貯金)	¥3,972,397
ゆうちょ銀行総合口座(担保定期預金)	0
ゆうちょ銀行振替口座	¥441,297
合計	4,413,694

★ 役員の交代について

2名の役員の任期満了に伴い、以下のような役員の交代が承認されました。

〈総務委員〉

〔旧〕 久保田 裕紀（東京都立大学） ⇒ 〔再任〕 久保田 裕紀（東京都立大学）

〈年報編集委員〉

〔旧〕 向井 秀忠（フェリス女学院大学） ⇒ 〔新〕 廣田 美玲（獨協医科大学）

2022年度の役員ならびに事務局は以下のとおりです。

〈2022年度 日本ジョンソン協会 役員会〉

総務委員 志渡岡 理恵、土井 良子、久保田 裕紀

大会準備委員 一ノ谷 清美、横内 一雄

年報編集委員 千葉 康樹、廣田 美玲

〈事務局〉

〒150-8538 東京都渋谷区東 1-1-49 実践女子大学文学部英文学科  
志渡岡理恵研究室内

★ 第6回18世紀イギリス文学研究学術賞・奨励賞の結果について

標記の各賞について、以下のような結果が報告されました。

第6回18世紀イギリス文学研究学術賞： 該当者なし

第6回18世紀イギリス文学研究奨励賞： 該当者なし

〈日本ジョンソン協会学術賞審査委員会〉

委員長

大河内 昌（東北大学）

委員

久野 陽一（青山学院大学）

佐々木 和貴（秋田大学）

向井 秀忠（フェリス女学院大学）

吉野 由利（学習院大学）

（敬称略・五十音順）

なお、「第7回18世紀イギリス文学研究学術賞・奨励賞」は2025年度に実施予定です。その前年度の2024年度総会で「募集要項」と「審査委員会」について審議し、承認を得ることになります。

★ 論集『十八世紀イギリス文学研究』第8号について

論集『十八世紀イギリス文学研究』第8号は2026年に刊行予定です。スケジュールおよび編集委員会は以下の通りです。

＜スケジュール＞

2024年 春：執筆希望調査締切

2025年 春：論文提出締切

2025年～2026年 夏：1次査読 秋：2次査読 冬：入稿

2026年 夏：大会にあわせて刊行

＜編集委員会＞

編集長： 西山 徹（名城大学）

編集委員（全6名）は、2023年度夏の総会で公表

なお、第8号の論集の刊行に際しても、協会の事業として、刊行年に「出版事業費」40万円を協会予算に計上し、論集製作費用の一部にあてることになりました。

★ 年報のデジタル化について

昨年度総会において、年報バックナンバーのデジタル化完成時期は本協会60周年にあたる2026年度を目指すことに決定しております。元総務委員の井石哲也先生と前役員の先生方のご尽力により、第3号～第20号は藤井哲先生からお借りすることができ、事務局で保管しています。第1号～第2号は元総務委員の原田範行先生が事務局にお送りくださることになっています。ご協力くださった先生方に御礼申し上げます。バックナンバーがすべて揃いましたら、昭和堂にデジタル化を依頼する予定です。公開方法につきましては、総務委員と年報編集委員で著作権の問題などについて調べ、検討いたします。

★ 次年度大会について

日程：2023年7月8日（土）（予定）

開催地：関西学院大学

☆ 『年報』第46号の発刊について

今年度の『年報』第46号が発刊されました。発行に際し、ご協力いただいた執筆者の皆様には、心より御礼申し上げます。

☆ 『年報』バックナンバーについて

事務局では、『年報』第37号（2013）から第42号（2018）までのバックナンバーを相当数保管しております。

ご希望の方は、希望号数、部数、郵送先を明記のうえ、事務局宛てにご連絡ください。おりにかえし、ご郵送させていただきます。

☆（年報委員より）『年報』第47号への寄稿のお願い

『年報』第47号の刊行準備にあたり、会員の皆様から「論考」並びに「研究書紹介」への寄稿を募集いたします。ここ数年、大会で懇親会が開くことができず、通常の依頼（お声がけ）がなかなか出来ておりません。そのため、ご寄稿のお願いに少し苦勞がでております。ご寄稿経験者の方も、経験のない方も、ふるって執筆いただけると存じます。「論考」と「研究書紹介」は年報編集委員 千葉康樹（2年目委員）が担当します。

「論考」：文字数 2800～3200字（英語の場合は1500～2000 words）

「研究書紹介」：文字数 1400字程度

ご執筆希望の方は、2022年10月16日（日）までに千葉までご連絡ください。投稿の締め切りは2023

年2月15日（水）です（一部の方には別日程をご案内いたしましたが、このたび日程を少し繰下げました）。なお、ご投稿が多数の場合には、分野やこれまでの寄稿回数などによって調整させていただく場合があります。ご承知おきください。どうぞよろしくお願いいたします。

千葉康樹 [chiba@sci.toho-u.ac.jp](mailto:chiba@sci.toho-u.ac.jp)

## ☆ 第55回日本ジョンソン協会大会研究発表者の公募

2023年7月8日（土）開催予定の日本ジョンソン協会大会での研究発表者を公募いたします。つきましては、発表を希望される会員は、大会準備委員までメールでお知らせください（見落としを防ぐため、下記の2カ所にお送りください）。

メールには、1) 氏名、2) 所属、3) 演題（仮題で可）、4) 300字程度の要旨、を記してください。締め切りは2023年2月28日（火）です。大会準備委員で検討の上、発表の可否についてお返事いたします。

日本ジョンソン協会大会準備委員  
一ノ谷清美 [ichinota@meijo-u.ac.jp](mailto:ichinota@meijo-u.ac.jp)  
横内一雄 [yokouchi@kwansei.ac.jp](mailto:yokouchi@kwansei.ac.jp)

## ☆ 2022年度年会費納入のお願い

本年度の会費納入にご協力頂きありがとうございます。

過去年度の会費未納の方は、年報に同封いたしました通知文書をご確認の上お支払いをお願いいたします。滞納が続きますと、ニューズレター等の送付が停止されます。また、3年以上の未納がある会員は、退会処分の対象となりますので、ご注意ください。退会をされても、未納分は会員側の債務となります。健全な学会運営のため、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

会費： 一般会員 5,000円 / 学生会員 3,000円 / 特別会員 2,000円  
郵便振込口座番号： 00170-8-110279  
加入者名： 日本ジョンソン協会

所属大学の該当部署から協会へ払い込みいただく場合は、納入者の氏名がわからないケースがありますので、念のため、振り込み手続きをされた旨、会員ご本人が事務局までご一報ください（メールでの件名には「〇〇年度年会費振り込みについて」とお書きの上、ご氏名とご所属を必ずお知らせください）。

## ☆ 新規会員勧誘のお願い（重要）

協会は新入会員を随時歓迎いたします。ぜひ、18世紀研究に関心のある方をお誘いください。

会員数が100名を切ると、日本学術会議協力学術研究団体の登録要件を満たせなくなってしまいます。会員の確保は、日本学術会議から提起された懸念材料のひとつであり、早急な対応が必要となる課題です。皆様による積極的な勧誘を、切にお願いいたします。

入会手続きにつきましては、事務局までご一報いただくか、協会ホームページをご参照いただくようご案内をお願い申し上げます。

## ☆ 過去の協会出版物に掲載した文章の転載について

昨今では、過去の協会出版物に印刷公表した原稿等に関して、転載許可が求められるケースがあるようです。

大学関係の情報リソースや公共的な出版物等への転載は、執筆者ご自身のご判断に基づき、自由に行っていたいただいて構わないということが総会で確認されております。ただし、商業出版物に転載する場合に

は、念のため、事務局へご一報ください。

## ☆ 訃報

本協会会員であられた和田敏英先生（山口大学名誉教授）が、2021年6月ご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。鈴木雅之先生より追悼文をお寄せいただきました。鈴木先生に深謝いたします。

追悼—和田敏英先生

長らく日本ジョンソン協会の会員であられた和田敏英先生（わだ・としえ、山口大学名誉教授）が昨年（2021年）6月にご逝去されました。享年91歳。ご承知のようにスウィフトを中心にした18世紀関連のご著書があります。

『「ガリヴァー旅行記」論争』（開文社、1983）、『イギリス十八世紀小説論』（開文社、1987）、『スウィフトの詩』（九州大学出版会、1993）他

日本ジョンソン協会では3度（第1回大会〔1968年〕、第11回大会〔1978年〕、第18回大会〔1985年〕）パネル・ディスカッションの司会兼講師を務めておられます。先生はわたしが山口大学人文学部英文学科に在職していたときの主任教授でした。要職を歴任されました。ご冥福を心からお祈りいたします。（鈴木雅之）

## ☆ 会員異動

★入会 勝田 俊輔氏

## ☆ 連絡先・身分等に変更あるときは、事務局まで届け出をお願いいたします。

連絡先などの変更は、必ず事務局までお知らせください。特に、事務作業や連絡体制の効率向上が必要なことから、メールアドレスについては必ずご登録をお願いいたします。

転居の場合、郵便局・佐川急便・クロネコヤマト等の転送手続きのご利用をお勧めいたします。

## ☆ ご寄贈書についてのお願い

日頃は貴重なご著書を協会にご寄贈頂き、深く感謝申し上げます。しかしながら、総務役員の任期は2年であり、事務局も2年ごとに新しい住所に移動することから、せっかくご寄贈頂いたご著書をその都度移動するのは困難な状況です。

この状況に鑑みて役員で検討した結果、協会へのご著書ご寄贈は辞退申し上げることとなりました。

もちろん、会員同士の個人間の寄贈につきましては、何ら制限を設けるものではございませんし、ご出版の情報につきましては、お知らせ頂ければニューズレター、もしくはメーリングリストにて会員にお知らせいたします。

何とぞ状況をご賢察賜り、ご海容下さいますようお願い申し上げます。